

当院に入院・通院された患者さんの抗菌薬使用に関する情報

を用いた医学系研究に対するご協力のお願い

研究責任者	所属 <u>感染症学</u> 職名 <u>専任講師</u>
	氏名 <u>宇野 俊介</u>
	連絡先電話番号 <u>03-5315-4287</u>
実務責任者	所属 <u>感染症学</u> 職名 <u>専任講師</u>
	氏名 <u>宇野 俊介</u>
	連絡先電話番号 <u>03-5315-4287</u>

このたび当院に入院・通院された患者さんの抗菌薬使用に関する情報を用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦 2012 年 1 月 1 日よりこれまでの間に、慶應義塾大学病院にて感染症の入院もしくは通院し、感染症の治療もしくは予防のために抗菌薬処方を受けた方

2 研究課題名

承認番号 20170320

研究課題名 抗菌薬適正使用支援チーム (AST) の発足と、慶應義塾大学病院における抗微生物薬使用適正性の関連についての研究

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部 感染症学

4 本研究の意義、目的、方法

現在、薬剤耐性菌が世界的に広がっており、医療機関において抗微生物薬を適正に使用することが、世界中で求められています。日本政府による、「薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン」にも、医療機関における抗微生物薬の使用状況を調査し、適正使用を推進する体制を構築し実践すること、さらに薬剤耐性菌の検出状況を把握することが重要とされ、5年間での抗菌薬使用量削減および耐性菌検出率の具体的な達成目標が設定されました。

慶應義塾大学病院においても、2017 年 8 月に抗微生物薬の処方実績を把握すること、および適正使用を促す目的で抗菌薬適正使用支援チーム(AST)が設立されました。そこで本研究では、任意の日に処方された全ての抗微生物薬の適正性を評価する point prevalence survey によって、AST の設立と抗微生物薬使用の適正性の関連について調査を行うことを目的としています。

本研究により、院内での適正な抗菌薬の処方率、効果的な AST による介入方法などが判明すれば、院内で薬剤耐性菌が生まれにくい環境を作り出す事が可能となり、院内感染症による予後が改善する可能性が期待できます。

5 協力をお願いする内容

慶應義塾大学病院で抗菌薬が処方された患者様の診療録および処方箋、臨床検査データ（血液）を確認し、処方された抗微生物薬、使用目的、用法用量、開始前の培養検体の採取の有無などについての情報を抽出させていただきます。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2028 年 3 月 31 日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、氏名および患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの抗菌薬使用に関する情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、匿名化した抗菌薬使用に関する情報を結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学医学部 専任講師 宇野 俊介

〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35

TEL 03-5315-4287 FAX 03-5315-4287

e-mail: sharaku@keio.jp

(電話は平日 8:30-17:00 のみ対応可能)

以上